

## 汚濁負荷量測定手法届出書

年 月 日

明石市長 殿

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

〒

届出者

(担当: 電話番号 )

水質汚濁防止法第 14 条第 3 項の規定により、汚濁負荷量の測定手法について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	
△汚濁負荷量の測定手法	別紙のとおり。	※備考	

備考 1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

2 ※印の欄には記載しないこと。

3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A4 とすること。

別紙(1)

特定排水等の汚染状態の計測方法、計測場所等

計測場所			
測定項目			
試料の採取及び試料の計測の場所並びに形状図等	別図( )のとおり		
汚染状態の計測法及び測定回数			
知事が定める方法による場合、その適用条件			
自動計測が困難な根拠 (排水量 400m <sup>3</sup> /日以上 の事業場等)			
水質自動計測器等の種類 及びその選定の根拠			
水質自動測定器等を使用 する等の場合、換算式及 び換算式の根拠	換算式 試料数 相関係数 変動係数		
換算式の検証に用いた データ及び散布図等	別表( )のとおり 別図( )のとおり		
工事着手予定年月日 工事完成予定年月日	年 月 日 年 月 日		
特定排水等の特性 (汚染状態の変動、工程 等)			
その他参考事項			

別紙(2)

特定排出水等の量の計測方法、計測場所等

項目 \ 計測場所		
計測場所及び形状図等	別図( )のとおり	
水量の計測法及び測定回数		
知事が定める適用条件		
自動計測が困難であるとする根拠(排出水量 400m <sup>3</sup> /日以上 of 事業場等)		
流量計等の種類及びその選定の根拠		
用水の量を特定排出水の量に換算する場合の換算式及びその根拠	換算式 試料数 相関係数 変動係数	
換算式の検証に用いたデータ及び散布図等	別表( )のとおり 別図( )のとおり	
工事着手予定年月日 工事完成予定年月日	年 月 日 年 月 日	
特定排出水等の特性 (量の変動パターン)		
その他参考事項		

別紙(3)

特定排水等の1日当たりの汚濁負荷量の算定方法

	計測場所	算式(L)	計算の方法	汚濁負荷量の測定回数	特定排水等の濃度(mg/L)	特定排水等の日平均水量(m <sup>3</sup> )	特定排水等の負荷量(kg/日)	負荷量の捕捉率(%)
C O D								
窒 素								
りん								

備考1:「算式(L)」欄には、各測定点の負荷量から事業場全体の負荷量を算出する式を記入すること。

2:「計算の方法」欄には自動演算器、手計算等の別を記入すること。